

かすたねっと

49号



飲食

10枚以上の
コピーは
印刷機を使用のこと

まなび創造館女性センターは、
男女共同参画を推進しています。

小牧市の “職場や就職活動での 男女平等意識”について 考えてみました。



参加者

Aさん:70代男性・Bさん:60代男性・Cさん:70代女性
Dさん:60代女性・Eさん:60代女性・Fさん:50代女性
Gさん:40代女性・Hさん:40代女性・Iさん:20代男性

Aさん／職場や就職活動で、**63.7%の人が『男性が優遇されていると感じている』**が、これは何をもってそう思うんだろうね？
(←図1)

Fさん／小牧市は企業が多く、**非正規で働く女性が多い**のでは？
正規社員は男性が多いとか。そこに関連はないでしょうか？

Bさん／でも、それって、**男女差別ではない**よね。それで、男性が優遇されていると思っただけの、男性が優遇されていると思っただけの誤解だよな。

Aさん／正規社員は時間的にもしばられ、会社に対する貢献度も高い。それに比べて非正規社員は正規社員よりもしばられることが少なく、待遇に差があるのは仕方ないことだと思っ。

Bさん／漠然としたイメージに引きずられて、いるところはありそうだな…。

Fさん／私が働きた頃は、上司が出張や外出をするときには、男性を連れて行くことが多いと感じていました。同じ、総合職でも、Aさん／きつと、入社するときの条件がそう

だったんじゃないの？
Fさん／同じだと思います。

私の職場では、総合職の研修期間が男性よりも女性のほうが短かったんです。
Aさん／そんなことあるんだね…。

今は、**女性活躍推進法**ができたから、これからは女性のための研修が多くなってくると思いますよ！

Gさん／「結婚し、出産などでいつ休むかわからない人に、いろいろと**仕事はまかせられない**よね」と言われたことがあります。
Cさん／そんなこと言われたの？！

Bさん／男性には職場で育成計画があるが、女性には無い、という話があった。
会社のルール決めの場に、女性がいないので、女性の立場に立ったルールが作られていないんだよね。

産休、育休が社内での評価基準からはずれるわけだよな。

Aさん／今は、総合職に対して育成プランがあるけれども、男女共通で考えても、産休、育休については、考えられていないな。

Iさん／今でも総合職に入っても**男性は営業、女性は事務**ときめられているところがあるみたいですよ。

複数／え〜？そんなの？！
Eさん／聞いた話だと、大学を出ても総合職ではなく、一般職を希望する人が増えていますよね。女性だけではなく、男性も。

Gさん／女性は出産というハンディを持って、自ら大変な総合職を選ぶのはなかなか難しいです。

Cさん／そうね、ひとりのことも育てる、ということは大変なことだもの。

Gさん／一緒に就職活動をしていた女性たちになぜ一般職を受けるのか理由を聞いて

みると、「この会社は女性の総合職も募集しているけれど、採用されるのは男性ばかり。受けても受からない。結婚したら辞めることになるかもしれない」というと、**一般職を選択してしま**う。」と言っていました。

Aさん／僕のいた会社では、本人が希望すれば試験を受けて、**一般職から総合職に転換できるシステムがあるよ。**

Gさん／それはいいですね！
そのシステムがあれば、様々な理由で一般職を選んだ人も、総合職にトライすることが出来ますね！

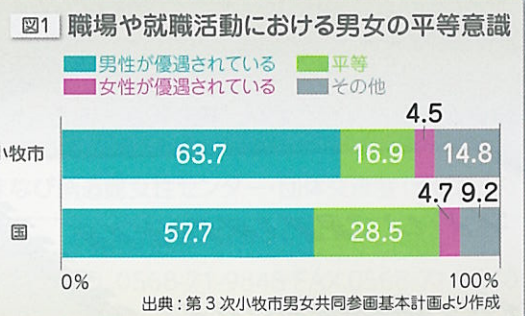
Bさん／法的に女性も男性も育休取得のルールができてあがっていても、それを運用できる会社って少ないよね。

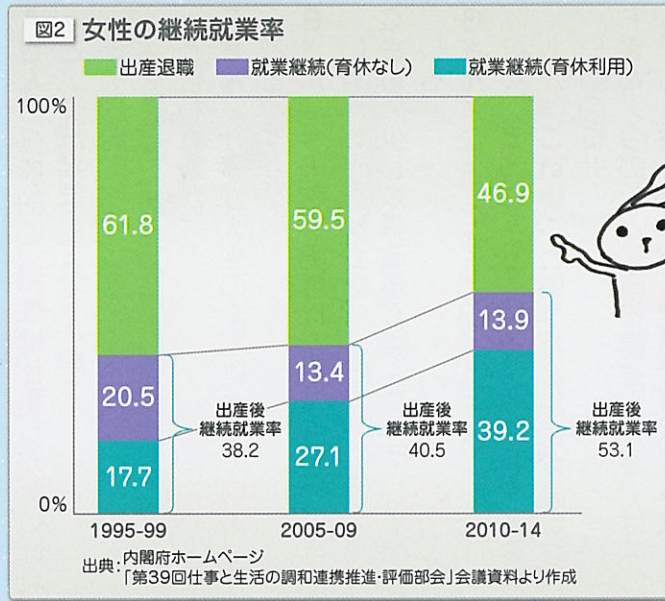
ゆくゆくは**男性も育休を当たり前**に取ることができるようになるとは思っけれどね。

Aさん／法の整備がなされているのに、社会に浸透していないのは行政の責任だよな。もっと、行政が積極的に企業に対して取り組むべきでは？

Bさん／女性が働き続けるには、最初からハンディがある。男性を上回るようにすると、すごく努力が必要だよな…。

Cさん／男性が育休を取ると、ニュースにな





る日本の世の中ですもんね。

Bさん／ところで、男性が育休をとると、男女平等になるんだらうか？

Fさん／出産はごこまでいっても、女性の話ですよ。

Dさん／学校を卒業して就職。**スタートは男性も女性も同じはず**なのに、40代50代になると、女性の正規社員数は少ないですね。

Eさん／仕事もバリバリやりたい、結婚も育児も頑張りたいと考える女性はごうしたらいいのでしょうね？

Cさん／出産、育児を社会的に評価できる仕組みはないかしら。

Aさん／学費の補償とか、税金対策とか。

Fさん／**全国で約50%の人が育休を取らずに仕事を辞める**ということは、出産、育児を機に、正規社員で働き始めた仕事を辞めていく、ごうごうですよ。

Eさん／女性が働くということの難しさは、出産だけではなく、そのあとも、育て続けていかなければいけないということですね。

Gさん／男性に負けないとして働こうとする人には、ごうしてもそこがネックになるのは間違いないし…。

無駄な苦勞をしたくない、しない女性は多いですよ。

私の知る限りでは、優秀な女性ほど多い感じがします。

Aさん／**優秀な人材が沢山いるのに、もったいないな。**

Bさん／現在は、一昔前より家庭収入額が少ないということだから、女性も出産で仕事を辞めたけれど、働いて収入を得なければいけないって、ごうごうだ。

Eさん／世間一般の認識として、子育ては女性の仕事という感じがする。女性も男性も少なからず、そのように思っていますか？

Fさん／それはなぜなのでしょう？

Aさん／現在は小中学校で男女平等に教育を受けてきているはずだから、最近の若い世代の家庭では、少し変わってきてるんじゃないかな。

Eさん／我家の結婚した息子も、すすんで食器洗いをしてるわ。

Cさん／私のところもー！

最初はびっくりしたけど…今はそれが普通なんだな、と思えるようになったわ。

私の考えかたも変わったってことね。

Bさん／近頃、若いお父さんが外出先でごうもにご飯を食べさせている姿をよく見かけらぞ。

Aさん／俺たちの時代では考えられないことだけぞ。

やはり、変わってきているんだ！

Bさん／女性もいろいろと言われて大変だけれど、**男性も仕事は今までと同じ**ようにしながら、家に帰ると、育児をしたり、洗いや洗濯をしたりと、**なかなか大変だよ。**

Fさん／どちらもうろろ過渡期ってことですよ。

Cさん／最近聞いた話では、結婚したくない男性が多いらしいね。

Iさん／僕は結婚したい派ですけど。友達の中には、結婚するとなにかと面倒くさいことが増えるから、したくないという人もいますよ。

Eさん／結婚のイメージが悪いのか。女性でも結婚したくない人の話を聞きますね。

Fさん／結婚↓妊娠↓出産↓子育て↓退職とつながってしまうのであれば、その展開はなんとかしたいですね。

Hさん／職場環境の整備が整うと、そのイメージが払拭されますか？

女性にも男性にも、**仕事をしながら子育てしやすい環境**があればいいですよ。

Bさん／世間的に育児休業取得を推奨し、それによって育児休業を取った男性は育児を本当にするんだらうか？

Gさん／うーん、する人は育休を取らなくても、育児はすすんでるらしいですよー！

Fさん／男性は給与が100%保障されたら、育休を取りたいと思いますか？

Bさん／いや、お金の問題ではないと思うけどな…。

潜在的に、男は仕事、という意識が根強いからな。

Eさん／働く女性は、**仕事にも家庭にも力を見込んで**すよ。

200%の力を出して頑張るのに…。

Aさん／一般的に、**男性は仕事**しかないけれど、女性も両方やれるよね。

ある部分で、逃げ道があるというか…。

「男は仕事ができなければ一人前じゃない」と言われるが。

Fさん／仕事が人生の全てになっているってことですか？

Bさん／今の若い男性はだいぶ変わってきているんじゃないかな。

Cさん／少し意識改革が進んできているのかしら。

Gさん／へ仕事をする男がかっこいいだけでなく、今ではそれに**子育て、家事をする男もかっこいい**、という社会評価が高まればいいの!!

Fさん／今のことに直接関連した話ではないかもしれませんが、**理系を選択する女子が依然と少ない**ようですね。ごどもから聞きました。

そこにも、『**先入観や小さい頃からの刷り込み**』が影響しているのでしょうか？

Cさん／女子は文系、男子は理系、のような…？

Fさん／**女性も男性と同等に理系学科を処理できる能力がある**と聞いたことがあります。

Bさん／もったいないな〜

Cさん／子育ての中に、『**女の子だから…**』というのが積み重なって、様々な人生の選択のときに、知らず知らず男の子と違うからと、**決めつけてしまっているのかしら。**

Fさん／就職のときに突然、男女の問題が発生しているのではなく、長い年月をかけて本人にも、周りにも、刷り込みされている。

Aさん／これからの世の中、『**職場で女性の意見や考え方を取り入れること**』が、**発展のポ**

イントだ、という話を聞いたよ。

Cさん／そうですね。**女性の視点で開発**された車とか商品が、ヒットしていると聞きました!

Aさん／どんなに企業が女性を管理職にしようとしても、自ら進んで総合職を希望する女性が少ないそうだよ。

多方面から改革していく必要があるな。

Fさん／他人事ではなく、**自分たちの住んでいる街の中のことですもんね!**

前号では、**家庭生活で、今号では、職場で**の男女平等意識について取りあげ、性別を超えて各人率直に話し合っていたいただきました。

女だから、男だからで決めつけられるのではなく、例えば、『○○さんはそうだけど、私はこうしたいと思います。』と言える。そして、その思いや、意見が尊重される家庭や、職場であれば、我々のまち小牧市も、今以上に活気に満ちた、住みやすいまちに向かっていると

思います。皆さんはどのように考えますか？

まず、身近な人達と『**男女平等**』について話し合う機会をもうけてみてください。

ださい。



男女共同参画単語帳

総合職

企業で総合的業務に当たる職。異動に際して任地などの制限が無い場合が多い。将来的に管理職になりうる職のこと。

一般職

企業で総合職をサポートするような定型的な業務を手がける。原則として転居を伴う異動はない。

編集後記

今回のテーマは「職場や就職活動での男女平等意識」についてでした。年代も世帯もちがう人たちでワイワイガヤガヤと、男女の格差の実状、女性の家庭生活と職業生活との両立のことなど、自分の経験や身近にいる家族の様子を通して、話し合ってみました。男女を問わず、一人ひとりの意識が変わって、もっとみんなが活躍しやすい社会の実現を目指していきたいですね。

表紙撮影場所・小牧市まなび創造館女性センター・団体交流室(ラピオ5F)